

「岩手の復興と再生に」 オール岩大パワーを

vol.9

<http://www.iwate-u.ac.jp/koho/fukkouletter.shtml> 岩手大学ホームページからもご覧いただけます。

首都圏のイベントにてワンにゃん号の展示を行いました

平成24年8月23日から26日にかけて幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催されたペット産業国際見本市「インターペット～人とペットの豊かな暮らしフェア～」にて、岩手大学のペット専用移動診療車「ワンにゃん号」の展示が行われました。

今回の展示は、今年3月にワンにゃん号を寄贈していただいたマース ジャパン リミテッドの呼びかけにより実現したもので、首都圏では初めてのワンにゃん号展示となりました。

展示されたワンにゃん号は、側面と後部のドアが開放され、車内に設置された最新鋭の機器類まで見学できるようになっており、ユニークな外観とハイテク機器がぎっしり詰まった車内に、多くの来場者が関心を寄せていました。

また、ワンにゃん号の展示にあわせて、実際にワンにゃん号を使用して被災地での動物診療活動を行った佐藤れえ子農学部附属動物病院長と大澤美香三陸復興推進機構特任研究員によるワンにゃん号の紹介ステージが行われました。ステージでは、岩手大学が震災直後から実施してきた被災動物支援活動やワンにゃん号寄贈の経緯などについて説明が行われました。ステージは複数回行われましたが、毎回立ち見が出るほどの盛況ぶり、真剣な表情で説明に聞き入る来場者の姿が多く見受けられました。

震災発生から一年半が経過し、人々から被災地への関心が薄れつつある中、首都圏の大規模イベントにて震災復興への取り組みの紹介を行えたことは、多くの人々に復興への関心を今一度持っていただけたという点で、岩手大学にとっても大変有意義な機会となりました。岩手大学では、今後も被災動物支援をはじめとした直接的な復興支援活動を継続して実施するとともに、多くの人々に被災地の復興に関心を持っていただけるような広報活動を積極的に実施していきます。



展示されたワンにゃん号



大盛況のワンにゃん号
紹介ステージ

アカモクシンポジウムに本学教職員が参加しました

平成24年8月20日、岩手県山田町中央公民館において、アカモク（海藻）シンポジウム（主催：アカモク消費拡大推進協議会）が開かれました。このシンポジウムは、山田湾に多く自生する海藻アカモクの機能性研究を行い、山田町の特産物化を目指そうという取り組みの一環として開催されたものです。

シンポジウムでは、岩手大学釜石サテライトの田村直司コーディネーターが司会進行を務め、岩手大学三陸復興推進機構水産業復興推進部門マーケティング戦略班長の対馬正秋教授が岩手大学の水産物高付加価値化プロジェクトの取り組みについて報告を行いました。

また、特別講演として、北海道大学大学院の宮下和夫教授が、「アカモクを利用した新産業の創出」と題した講演を行いました。宮下教授のアカモクに関する取り組みには、今後岩手大学農学部の三浦靖教授が参画して、共同で研究が行われる予定です。

岩手大学は、今後もアカモクをはじめとした復興の象徴となる地域の特産品創出等の取り組みを支援していきます。



報告を行う対馬教授

岩手大学三陸復興プロジェクト

岩手大学では岩手大学三陸復興推進機構を設置し、地域の行政や住民、他大学、企業等と連携を図りながら、教職員・学生が一丸となって東日本大震災復興に取り組んでいます。今回は、宮古市田老地区に「田老復興まちづくり研究室」を開設し、支援活動や研究を行っている地域コミュニティ再建支援班の取り組みの一例をご紹介します。

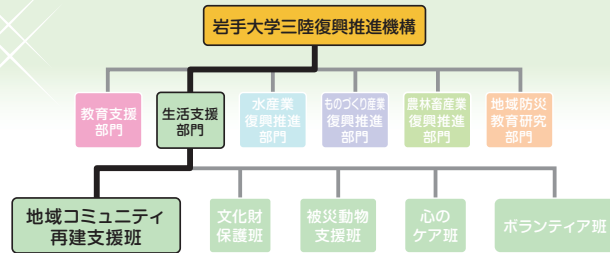
復興支援から復興主体へ 一たるちゃん研究の挑戦

岩手大学三陸復興推進機構 生活支援部門 地域コミュニティ再建支援班
南 正昭(工学部教授 社会環境工学科 都市計画学研究室)

2011年3月11日に東日本大震災が発生してから、1年半が経過しました。人口の流出、少子高齢化の進行、地場産業の衰退、被災者の疲労など、未だ多くの課題が残されています。私たちは、被災地の大学に身を置く者として、現場から学び、共に考え、できることを見つけて出し、実践することを通して、未曾有の大震災からの復興を、歴史の評価に耐える復興へと近づけていかなければなりません。

東日本大震災の発生から1年を経た2012年3月11日、宮古市田老地区の仮設住宅群の中に、本研究の分室として田老復興まちづくり研究室(通称:たるちゃん研究室)を開設しました。支援活動や支援に繋がる研究のための拠点としています。

壊滅的な被害を受けた地域では、人的被害や家屋の流出に伴い、従前のコミュニティの維持が困難になっているところが少なくありません。復興まちづくりに向けた課題は多様で混沌としており、どこから手を付けて良いかすらわからないという事態が継続してきました。この惨状下においてさえ、将来にわたる人命の安全や財産の保全における責任主体は住民自身にあること



から、住民を主体としたまちづくりが行政等との連携のもとに進められることが望めます。時々刻々と変化し、将来への十分な見通しの立たないなかで、住民主体によるコミュニティ再生・創生の促進を目的に、ゼロからの取り組みを進めています。

現在、たるちゃん研究室では、仮設住宅での回覧板(たるちゃん回覧板)づくり、地域イベントの再生・企画、防災まちづくりへの取り組み、産業再生など、さまざまなテーマに関する住民主体の話し合いの場がもたれてきています。開設以降、多いときには週2~3回、平均で週1回程度の対話の場がもたれています。

復興への長い道のり、これから乗り越えなければならない幾多の困難に備え、復興の主体である住民とともに学びながら前に進むこと。壊滅的な被災からの住民主体の復興まちづくりの支援技術を開発すること。被災地を学びの場とする人材育成へと繋げること。たるちゃん研究室の挑戦が始まっています。



2012年7月6日たるちゃん研究室にて(たるちゃん回覧板 回覧前後)

釜石サテライトだより

例年、沿岸地域ではお盆を過ぎると徐々に涼しくなり、秋の気配を感じる季節となりますが、今年は残暑の厳しい日が続いています。

今回釜石サテライトからは学生有志による、あるプロジェクトを紹介します。

○「みんなの思いを届けよう」プロジェクト

8月27日(月)、釜石市教育センターにて「みんなの思いを届けよう」プロジェクトによるパソコンの寄贈式が行われました。このプロジェクトは本学の学生と岩手大学生協が中心となった被災地支援活動であり、釜石市教育委員会へパソコン30台とプリンター1台、モバイルルーター1台を贈りました。

このプロジェクトは実行委員の学生たちが、被災地のためにパソコンを送ろうと考え、学内で協力してくれる学生を募り、立ち上げたプロジェクトです。震災後の沿岸地域を見たことがない学生も多くいましたが、実際に被災地に足を運び、被災地の状況を理解することでこのプロジェクトへの思いも強くなっていったようです。パソコンを寄贈するにあたって岩手大学生協の支援のもと、学内で



寄贈されたパソコン

だけでなく街頭での募金活動も行い、パソコン購入のための資金にあてました。当日の寄贈式では釜石市教育委員会の川崎教育長から感謝の言葉をいただき、今まで活動してきた学生のみならず被災地の役に立てたことを実感したのではないのでしょうか。

釜石サテライトのように復興支援に関わる職員だけでなく、学生や生協のみならずまでもがこうして被災地のために行動をおこしてくださることはとても嬉しいことです。今後も釜石サテライトが中心となり岩手大学全体で被災地を盛り上げていければと思います。



川崎教育長と実行委員のメンバーたち

今後、様々なプロジェクトが展開される中で、現場窓口としてサポートさせていただきます。

◆連絡先 釜石サテライト

〒026-0031 岩手県釜石市鈴子町15-2 釜石市教育センター5階
TEL:0193-22-4420/0193-22-4426
E-mail:kamaishi@iwate-u.ac.jp

Information

第2回 岩手大学オープンキャンパス 2012

日時: 10月20日(土) 9:30~15:00
(総合案内は図書館前で9:20から受付開始)
場所: 岩手大学

学部紹介、ミニ講義、研究室公開等を行います。皆さまのお越しをお待ちしております。

9:30	人文社会科学部	教育学部	工学部	農学部	研究室紹介(自由見学)農学部なんでも相談(随時)
9:30	学部全体説明会	学部全体説明会	学部全体説明会 (学部概要及び入試説明) ミニ講義	学部全体説明会 (学部概要及び入試説明) 課程紹介 (農学生命、共生環境、獣医) 課程紹介 (応用生物化学、動物科学)	
10:30	課程説明会 (課程ごと)	コース別授業体験	学科説明会 (学科ごと)		
11:00	大学紹介DVD 上映				
11:30	学部全体説明会 学部教員との懇談会 (進路指導教諭対象)	コース別授業体験	学科相談会 (学科ごと)	進路指導教諭との懇談会	
12:00					
12:30					
13:00					
13:30					
14:00					
14:30					
15:00					

※オープンキャンパスと併せて、大学祭(不來方祭)は、10月20日(土)・21日(日)に開催します。

第2回 地域防災フォーラム

不來方祭2日目に、地域防災研究センターでは「海外から見た東日本大震災~インド洋大津波との比較をもとに~」と題し、第2回地域防災フォーラムを開催します。

日時: 10月21日(日) 13:00~15:00(12:30開場)

場所: 岩手大学工学部キャンパス内
復興祈念銀河ホール/テクノホール(同時配信)

講演者: ケンタッキー大学教授
Dr.Paradyumna P.Karan(日本語通訳付き)

お問い合わせ: 岩手大学地域防災研究センター
TEL:019-621-6448
http://rcrdm.iwate-u.ac.jp/

お問い合わせ: 岩手大学入試課 TEL: 019-621-6064 http://www.iwate-u.ac.jp/